

お知らせ

2025年10月24日
ハルタゴールド株式会社

試験研究用低温脱硝触媒粉末の販売開始について ～低温脱硝技術でさらなる環境負荷の低減に貢献します～

ハルタゴールド株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長：江本 慎治）は、中国電力株式会社エネルギー総合研究所（広島県東広島市、所長：木田 淳志）と東京都公立大学法人東京都立大学（東京都八王子市、学長：大橋 隆哉）が共同開発した試験研究用低温脱硝触媒粉末の販売を開始しましたのでお知らせします。

このたび販売する脱硝触媒（以下「本触媒」）は、中国電力株式会社エネルギー総合研究所と東京都立大学が共同で開発を進めた成果であり、比較的低温（150℃～200℃）でも高い脱硝効果を有するため、産業プラントにおける排ガスの再加熱に係るエネルギーの削減を実現し、省エネルギー化に寄与するものです。当社が試験研究用等として少量規模での販売を開始します。

産業プラントでは、化石燃料やごみの燃焼時に排出されるガスに含まれる窒素酸化物（NO_x）の大気放出を抑えるため、窒素酸化物を分解する脱硝装置を備えています。本触媒を導入することで、排ガス処理に掛かる熱エネルギーを節約し、省エネルギー化を目指すことができます。さらに、研究・開発が進められている次世代発電システム（水素・アンモニア燃料）では、従来発電システムと比較してより多くの窒素酸化物が燃焼時に発生するとされており、本触媒の貢献が期待できます。

以上